

重要なポイント!

※内容構成(案)はイメージであり、今後の協議会での議論で変更になる場合があります。

1 計画の正当性、信頼性、実効性

- ①地球温暖化の原因が、人間活動により排出された温室効果ガス(二酸化炭素)であることの科学的な根拠
  - 準備会：地球温暖化の原因が、人間活動により排出された温室効果ガス(二酸化炭素)である
  - 協議会：科学的な根拠
- ②温暖化により極端な気候現象が発生しており、今後も増加し続けると予測される科学的な根拠
  - 準備会：温暖化により極端な気候現象が発生している
  - 協議会：今後も増加し続けると予測される科学的な根拠
- ③温室効果ガス(二酸化炭素)削減目標の達成に向けた、具体的な施策とその技術的な根拠や投資予算の具体化
  - 準備会：(※4.再生可能エネルギーを利活用する施策と目標値)
  - 協議会：具体的な施策とその技術的な根拠や投資予算の具体化

第1章 はじめに

- 1 計画策定の背景
- 2 計画策定の目的
- 3 上位計画及び関連計画との位置づけ
- 4 計画期間

➤ 準備会で作成済のデータを基に、事務局で作成します

2 緊急性を伝えるための工夫

- ①現在はそのままだと次世代に大きな被害を与えてしまう非常事態であり、そうした被害の具体的な発生事例や時期
  - 準備会：現在はそのままだと次世代に大きな被害を与えてしまう非常事態
  - 協議会：被害の具体的な発生事例や時期
- ②非常事態において一人ひとりが何をすればよいか理解できる活動のビジョンやコンセプト
  - 準備会：(※3.再生可能得エネルギーの利活用と省エネルギーの取り組みに関する項目)
  - 協議会：非常事態において一人ひとりが何をすればよいか理解できる活動のビジョンやコンセプト
- ③関連する知識や情報、データが視覚的に理解できる図表などの表現
  - 準備会：(「わかりやすく伝える」といった意見が挙げられた)
  - 協議会：関連する知識や情報、データが視覚的に理解できる図表などの表現

第2章 白馬村の特徴

- 1 白馬村の基礎情報
- 2 これまでの白馬村の気候の変化
- 3 将来の白馬村の気候・気象の変化

➤ 今後、事務局で作成します

3 行動計画作成の住民への周知

- ①計画作成過程から住民へ広く周知を図る。(会議録の公表、ホームページや広報・ケーブルテレビ、民間企業のHP等の積極的活用)
  - 準備会：(「協議会での議論を広く周知してほしい」といった意見が挙げられた)
  - 協議会：関連する知識や情報、データが視覚的に理解できる図表などの表現

第3章 基本方針

- 1 白馬村気候非常事態宣言の具体的な行動計画に関する基本的な考え方

➤ 準備会で作成済



第4章 目標設定と戦略(アクションプラン)

- 1 白馬村における再生可能エネルギーの導入量(発電量...定量目標)
- 2 村内の総電力の使用量(定量目標)
- 3 二酸化炭素排出対策(定性目標)

➤ 調査業務を委託し、そのデータを基に協議会で議論し作成します

1) 実態調査・可能性調査

- エネルギー量調査
- 再エネポテンシャル量調査
- 省エネ方法の洗い出しと効果検証方法
- 持続可能な再エネ活用ビジネスモデルの検討方法

【準備会での報告を踏まえ実態調査が必要】

2) 取り組むべき内容(取組内容・行動計画)

- 目標値(再エネの生産量)
- 目標値(省エネの具体的取組内容)
- ⇒省エネによる効果を記載

【3 再生可能エネルギーの利活用と省エネルギーの取り組みに関する項目】  
【4 再生可能エネルギーを利活用する施策と目標値】

3) モデルプラン(推進体制・行動計画)

- ビジネスモデルの提案
- 推進体制

【5 その他(協議会への提言)を含め、最終的に推進体制などを示す】

第5章 推進体制

- 1 実施体制
- 2 進捗管理
- 3 各主体の役割
- 4 ビジネスモデルの提案

➤ 今後、協議会で議論し作成します